



The Global Language of Business

経済産業省 第2回商品情報連携会議

GS1 Japan 産業横断レジストリー (産レジ)

正確な商品情報の連携による流通の効率化と付加価値向上

GS1 Japan (一般財団法人 流通システム開発センター)

2025年12月5日

Content of presentation

GS1 Japan 産業横断レジストリー FY25 Update – Main deck		Slides
1. FY25「5/30 第1回会議」振り返りと実施状況		3-6
2. 事業モデル		7-11
3. 産レジver2.0検討		12-18
4. スケジュール		19-20
Appendix		Slides
A. 第一回商品情報連携会議説明資料 ※一部更新		22-35
B. GTIN設定の10のルール		36-37

Main deck

1 FY25「5/30 第1回会議」振り返りと実施状況

2 事業モデル

3 産レジver2.0検討

4 スケジュール

GS1 Japan 産業横断レジストリー FY25

「5/30 第1回会議」振り返り

「社会的なインフラ」、「公共性」、「全産業の繁栄」を構築・運営の目的として、サプライチェーン全体の商品情報授受の効率化のための取り組みを推進する

GS1 Japan(一般財団法人 流通システム開発センター)、株式会社ジャパン・インフォレックス(JII)および株式会社プラネットの三者は、GTINと商品情報のニーズに対処するため、業界横断的な商品情報のレジストリーとして、GS1 Japan産業横断レジストリーを構築する



我が国最大級 ブランドオーナー起点の 業界横断的商品情報提供システム

ブランドオーナーが管理している商品情報の提供を、GS1 Japan、ジャパン・インフォレックス、プラネットの三者が共同で取り組むことで
酒類・食品、日用品、化粧品、ペットフード・ペット用品、OTC医薬品を幅広くカバー。



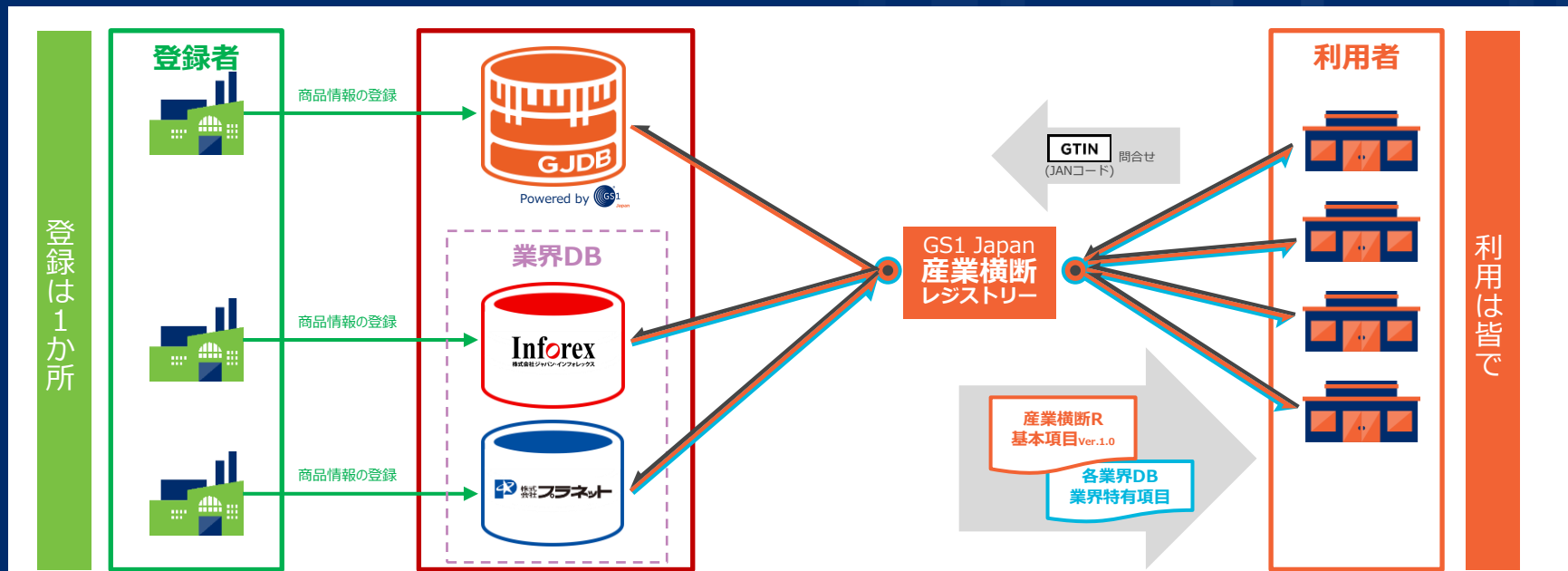
我が国流通業界における 正確な商品情報提供と 商品情報授受の効率化を実現

商品を最もよく知る当事者である
ブランドオーナーが
管理している正確な商品情報を、
商品情報利用者は
1か所にアクセスすることで取得可能に。

GS1 Japan 産業横断レジストリー FY25

「5/30 第1回会議」振り返り

GS1 Japan 産業横断レジストリーは、利用者が問い合わせしてきたGTIN (JANコード) に対して、各データベースに問い合わせ、基本項目 (56項目) を統一のフォーマットに変換し利用者に提供。また、各業界DBの業界特有項目は変換を実施せず、そのまま各業界DBのフォーマットで利用者に提供。



GS1 Japan 産業横断レジストリー FY25

「5/30 第1回会議」からの実施状況



Main deck

1 FY25「5/30 第1回会議」振り返りと実施状況

2 事業モデル

3 産レジver2.0検討

4 スケジュール

GS1 Japan 産業横断レジストリー 事業モデル

利用料金の考え方と料金体系(案)



利用料金の考え方

産レジ事業は、製配販の商品情報流通の効率化・高度化という流通業界全体の利益を図るための公益的な事業。即ち、非営利法人であるGS1 Japanが基幹的な部分を運営し、業界データベース運営会社と協力して、広く流通事業者ブランドオーナー発の商品情報を適切に提供することとを目的としている。

利用料金は、あくまで産レジ事業に必要なシステム構築・維持費や事業運営費など事業の持続可能性を確保するために必要な費用として、同事業を利用する事業者の皆様に公平にかつ応分に負担いただく。

業界データベース運営会社である株式会社ジャパン・インフォレックスと株式会社プロダクト・レジストリー・サービスは、製配販の商品情報流通の効率化・高度化というGS1 Japanの考えに賛同し、産レジの運営に尽力する

利用料金体系

初期設定料(利用開始時のみ)

産レジver1.0ご利用に当たっての初期設定に必要な費用。

基本料(毎年度)

システム構築維持費を
ご利用各社に定額(小規模事業者を除く)で
ご負担。

情報利用料(毎年度)

ご利用各社が情報を利用
できるためのシステム
運用費をご利用各社の
年商に応じてご負担。

GS1 Japan 産業横断レジストリー 事業モデル 料金表(案) 1/2



＜料金表＞ 年額費用						単位：千円	
(年商：億円)	①初期設定料	①初期設定料 (税込)	②利用料（年額、一括）			②利用料（年額、一括） (税込)	
			②-1 基本料	②-2 情報利用料	利用料合計		
				Ver1.0			
100億未満	300	330	23	45	68	74	
100 ～	300	330	45	90	135	149	
200 ～	300	330	90	180	270	297	
300 ～	300	330	135	270	405	446	
400 ～	300	330	180	360	540	594	
500 ～	300	330	225	450	675	743	
600 ～	300	330	270	540	810	891	
700 ～	300	330	315	630	945	1,040	
800 ～	300	330	360	720	1,080	1,188	
900 ～	300	330	405	810	1,215	1,337	
1,000 ～	300	330	450	900	1,350	1,485	
2,000 ～	300	330	900	1,800	2,700	2,970	
3,000 ～	300	330	1,350	2,700	4,050	4,455	
4,000 ～	300	330	1,800	3,600	5,400	5,940	
5,000 ～	300	330	2,000	4,500	6,500	7,150	
6,000 ～	300	330	2,000	5,400	7,400	8,140	
7,000 ～	300	330	2,000	6,300	8,300	9,130	
8,000 ～	300	330	2,000	7,200	9,200	10,120	
9,000 ～	300	330	2,000	8,100	10,100	11,110	
10,000 ～	300	330	2,000	9,000	11,000	12,100	
11,000 ～	300	330	2,000	9,810	11,810	12,991	
12,000 ～	300	330	2,000	10,620	12,620	13,882	
13,000 ～	300	330	2,000	11,430	13,430	14,773	
14,000 ～	300	330	2,000	12,240	14,240	15,664	
15,000 ～	300	330	2,000	13,050	15,050	16,555	



15,000 ～	300	330	2,000	13,050	15,050	16,555
16,000 ～	300	330	2,000	13,860	15,860	17,446
17,000 ～	300	330	2,000	14,670	16,670	18,337
18,000 ～	300	330	2,000	15,480	17,480	19,228
19,000 ～	300	330	2,000	16,290	18,290	20,119
20,000 ～	300	330	2,000	17,100	19,100	21,010
21,000 ～	300	330	2,000	17,920	19,920	21,902
22,000 ～	300	330	2,000	18,540	20,540	22,594
23,000 ～	300	330	2,000	19,260	21,260	23,386
24,000 ～	300	330	2,000	19,980	21,980	24,178
25,000 ～	300	330	2,000	20,700	22,700	24,970
26,000 ～	300	330	2,000	21,420	23,420	25,762
27,000 ～	300	330	2,000	22,140	24,140	26,554
28,000 ～	300	330	2,000	22,860	24,860	27,346
29,000 ～	300	330	2,000	23,580	25,580	28,138
30,000 ～	300	330	2,000	24,300	26,300	28,930
31,000 ～	300	330	2,000	24,930	26,930	29,623
32,000 ～	300	330	2,000	25,560	27,560	30,316
33,000 ～	300	330	2,000	26,190	28,190	31,009
34,000 ～	300	330	2,000	26,820	28,820	31,702
35,000 ～	300	330	2,000	27,450	29,450	32,395
36,000 ～	300	330	2,000	28,080	30,080	33,088
37,000 ～	300	330	2,000	28,710	30,710	33,781
38,000 ～	300	330	2,000	29,340	31,340	34,474
39,000 ～	300	330	2,000	29,970	31,970	35,167
40,000 ～	300	330	2,000	30,600	32,600	35,860
41,000 ～	300	330	2,000	31,140	33,140	36,454
42,000 ～	300	330	2,000	31,680	33,680	37,048
43,000 ～	300	330	2,000	32,220	34,220	37,642
44,000 ～	300	330	2,000	32,760	34,760	38,236



次の頁につづく

GS1 Japan 産業横断レジストリー 事業モデル 料金表(案) 2/2



＜料金表＞ 年額費用					単位：千円	
(年商：億円)	①初期設定料	①初期設定料 (税込)	②利用料（年額、一括）			②利用料（年額、一括） (税込)
			②-1 基本料	②-2 情報利用料	利用料合計	
				Ver1.0		
45,000 ～	300	330	2,000	33,300	35,300	38,830
46,000 ～	300	330	2,000	33,840	35,840	39,424
47,000 ～	300	330	2,000	34,380	36,380	40,018
48,000 ～	300	330	2,000	34,920	36,920	40,612
49,000 ～	300	330	2,000	35,460	37,460	41,206
50,000 ～	300	330	2,000	36,000	38,000	41,800
51,000 ～	300	330	2,000	36,450	38,450	42,295
52,000 ～	300	330	2,000	36,900	38,900	42,790
53,000 ～	300	330	2,000	37,350	39,350	43,285
54,000 ～	300	330	2,000	37,800	39,800	43,780
55,000 ～	300	330	2,000	38,250	40,250	44,275
56,000 ～	300	330	2,000	38,700	40,700	44,770
57,000 ～	300	330	2,000	39,150	41,150	45,265
58,000 ～	300	330	2,000	39,600	41,600	45,760
59,000 ～	300	330	2,000	40,050	42,050	46,255
60,000 ～	300	330	2,000	40,500	42,500	46,750
61,000 ～	300	330	2,000	40,860	42,860	47,146
62,000 ～	300	330	2,000	41,220	43,220	47,542



62,000 ～	300	330	2,000	41,220	43,220	47,542
63,000 ～	300	330	2,000	41,580	43,580	47,938
64,000 ～	300	330	2,000	41,940	43,940	48,334
65,000 ～	300	330	2,000	42,300	44,300	48,730
66,000 ～	300	330	2,000	42,660	44,660	49,126
67,000 ～	300	330	2,000	43,020	45,020	49,522
68,000 ～	300	330	2,000	43,380	45,380	49,918
69,000 ～	300	330	2,000	43,740	45,740	50,314
70,000 ～	300	330	2,000	44,100	46,100	50,710
71,000 ～	300	330	2,000	44,460	46,460	51,106
72,000 ～	300	330	2,000	44,820	46,820	51,502
73,000 ～	300	330	2,000	45,180	47,180	51,898
74,000 ～	300	330	2,000	45,540	47,540	52,294
75,000 ～	300	330	2,000	45,900	47,900	52,690
76,000 ～	300	330	2,000	46,260	48,260	53,086
77,000 ～	300	330	2,000	46,620	48,620	53,482
78,000 ～	300	330	2,000	46,980	48,980	53,878
79,000 ～	300	330	2,000	47,340	49,340	54,274
80,000 ～	300	330	2,000	47,700	49,700	54,670

早期契約者割引

産レジver1.0の契約をいただく事業者
につきましては、事業開始後3年間に
限り情報利用料について割引を検討



GS1 Japan 産業横断レジストリー 事業モデル

情報IT企業との協力



小売業をサポートする情報IT企業との連携

小売業においては、各業務で商品情報を活用するため、情報IT企業のサービスやサポートを受けている。産レジの情報を、より活用しやすくするため連携・協力を検討中。

情報正確性への対応



商品情報の真正性確保への対応

産レジは商品を最もよく知るブランドオーナーが登録した情報を提供する。真正性を確保するため、一元的な入力(シングルインプット)を担保しつつ、入力の支援方策を検討する。正確性を確保できるよう流通全体での取り組みを進める。誤検知や早い修正を可能にするフローも検討を進めていく。

Main deck

1

FY25「5/30 第1回会議」振り返りと実施状況

2

事業モデル

3

産レジver2.0検討

4

スケジュール

GS1 Japan 産業横断レジストリー 産レジver2.0検討

検討中の拡張機能



産レジVer.1.0のリリースに向けての開発と並行して、
産レジver2.0のリリース(時期未定)を目指して業務要件定義を実施中



項目追加

小売業からの要望を確認。業界データベースと内容を整理しながら検討を進めている。
品質項目として、アレルゲン28種フラグ追加の他、要望の高い項目を検討中。



画像情報連携

棚割画像、Webページ用画像、印刷用画像などの追加を検討。産レジの各連携データベースで取り扱う画像仕様について確認。小売業からの要望を確認。産レジ経由の画像提供方法について、技術仕様含め検討中。



更新情報連携 (本日の対象外)

小売業からの要望を整理中。産レジとしての更新情報の連携方式について検討中。

画像・アレルゲン項目の追加は必須として、その他は小売共通で要望が高い項目を追加

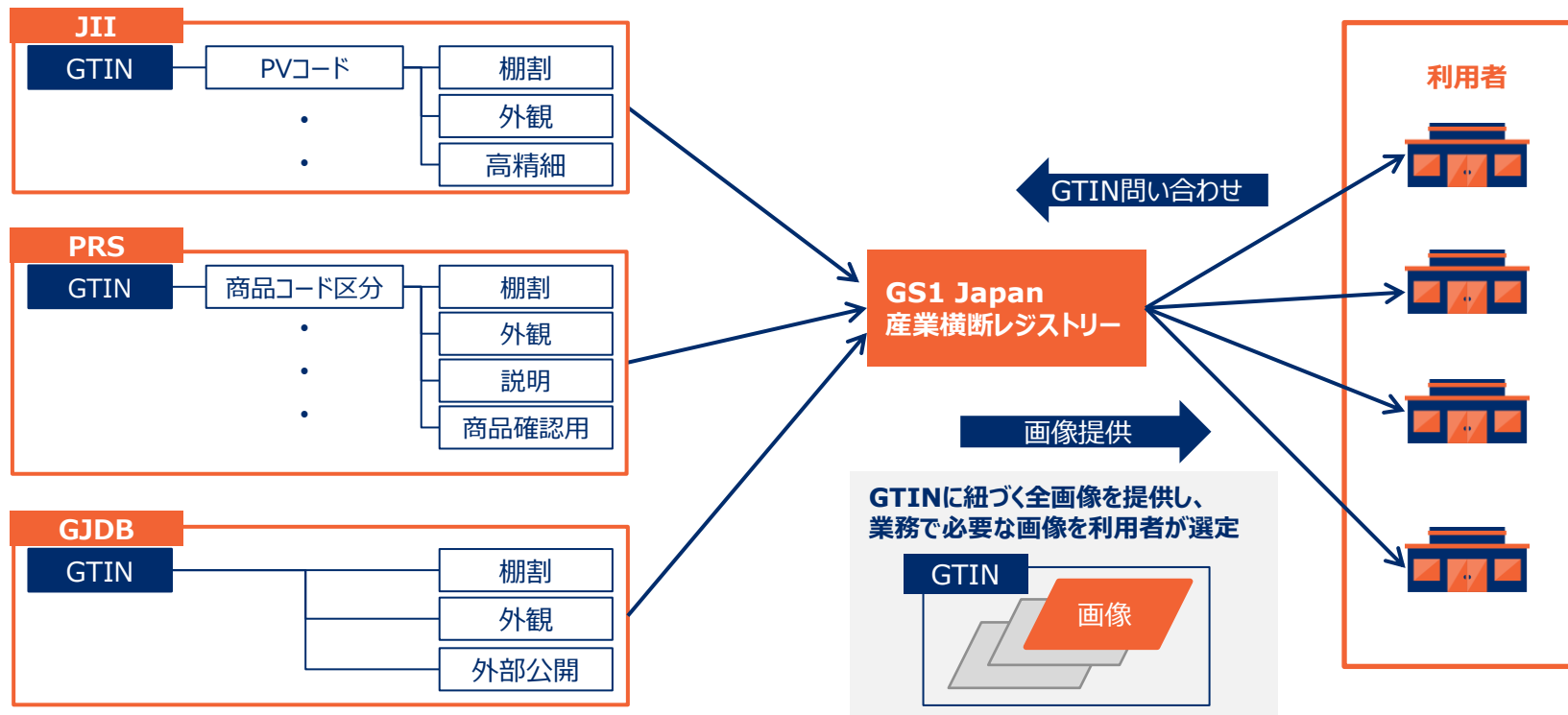
項目追加の検討状況：

- 小売有識者が小売共通で要望が高い項目の選定を実施
- 上記項目を対象にして、業界DB(JII・PRS)と項目有無および、提供可否を調整中

Ver		項目分類	追加方針	説明ページ
検討 範囲	Ver1.0	基本項目		
		業界特有項目		
	Ver2.0	①画像	方針を検討中	P.14-15
		②アレルゲン項目※1	項目の型は 産レジで統一して追加	P.16
		③上記以外で追加する項目 (小売共通で要望が高い項目)	項目の型は 統一せずに追加	P.17

※1 食品表示法に基づいて表示が求められるアレルギー物質

JII・PRS・GJDBで保持する画像を産レジ経由で利用者にGTIN単位で提供する。



JII・PRS・GJDBから提供する画像分類・画像種類

登録DB	画像分類	画像種類	登録DB	画像分類	画像種類
JII	棚割	正面	GJDB	棚割	正面
		上面			右側面
		右側面			上面
		左側面			左側面
		背面・裏面			背面
	外観	1種類			底面
PRS	棚割	1種類		外観	正面
		正面			裏面
		右側面		外部公開	正面
		上面			
		左側面			
		背面			
		底面			
	外観	1種類			
	説明	5種類			
	商品確認用	6面			

②アレルギー28項目

義務表示(8項目)※1

- かに含有フラグ
- 卵含有フラグ
- 乳含有フラグ
- 落花生含有フラグ
- えび含有フラグ
- そば含有フラグ
- 小麦含有フラグ
- くるみ含有フラグ

※1 特に発症数、重篤度から勘案して表示する必要性の高いもの(消費者庁より)

推奨表示(20項目)※2

- カシューナッツ含有フラグ
- アーモンド含有フラグ
- アワビ含有フラグ
- いか含有フラグ
- いくら含有フラグ
- オレンジ含有フラグ
- キウイフルーツ含有フラグ
- 牛肉含有フラグ
- ごま含有フラグ
- さけ含有フラグ
- さば含有フラグ
- 大豆含有フラグ
- 鶏肉含有フラグ
- バナナ含有フラグ
- 豚肉含有フラグ
- マカダミアナッツ含有フラグ
- もも含有フラグ
- やまいも含有フラグ
- りんご含有フラグ
- ゼラチン含有フラグ

※2 症例数や重篤な症状を呈する者の数が継続して相当数みられるが、特定原材料に比べると少ないもの(消費者庁より)

③小売共通で要望が高い項目※1※2

※1 関係者との調整次第で、項目数は増加の可能性あり

※2 小売共通で要望が高い項目について、PRSはVer1.0で実装予定

FDB(10項目)	Inforex(3項目)
<ul style="list-style-type: none">• アレルギー物質コンタミ可能性の有無• 推奨以下のアレルギー物質確認実施• ピスタチオ含有フラグ• 栄養成分強調表示• エネルギー• たんぱく質• 脂質• 炭水化物• ナトリウム• 食塩相当量	<ul style="list-style-type: none">• 終売日付• 原産国コード• 不定貫フラグ

Main deck

1

FY25「5/30 第1回会議」振り返りと実施状況

2

事業モデル

3

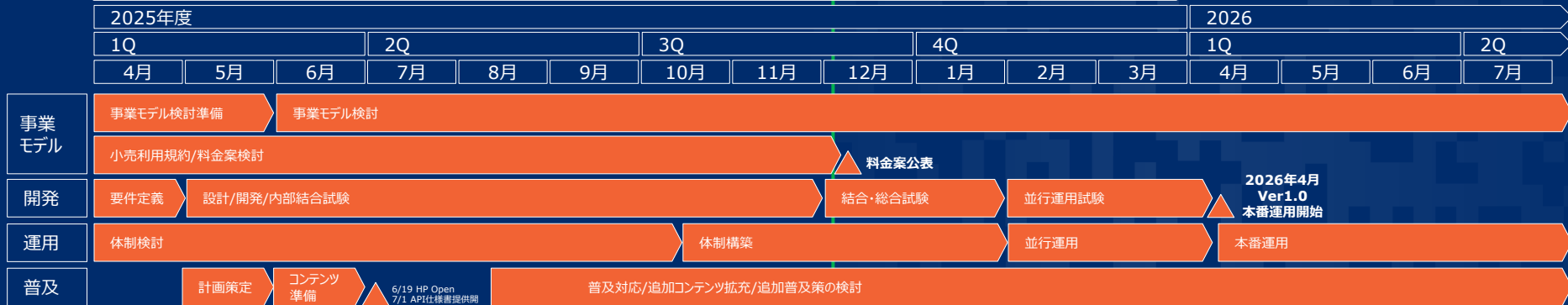
産レジver2.0検討

4

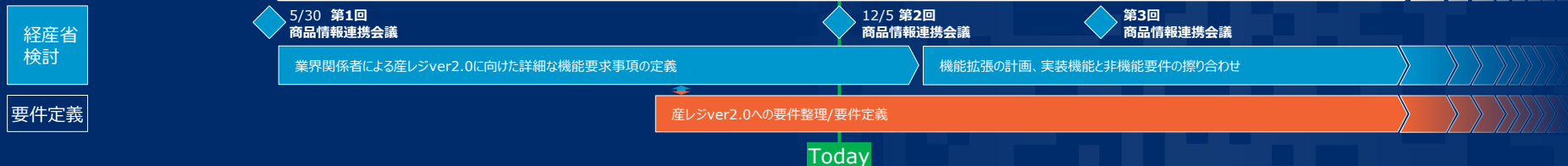
スケジュール

GS1 Japan 産業横断レジストリー スケジュール

Phase1: ver.1.0リリース対応



Phase2: 産レジver2.0のリリース準備



商品情報連携の第一歩は、産レジver1.0の利用開始

商品情報 登録は1か所、利用は皆で

GS1 Japan 産業横断レジストリー

https://www.gs1jp.org/database_service/gjcipr/



お問い合わせ

GS1 Japan（一般財団法人流通システム開発センター）

GS1 Japan 産業横断レジストリーに関するご質問は
以下よりお問い合わせください。

https://www.gs1jp.org/database_service/gjcipr/



APPENDIX

A

第一回商品情報連携会議説明資料 ※一部更新

B

GTIN設定の10のルール

GS1 Japan 産業横断レジストリーの背景(1/2)

デジタル化、ネット化へのGS1の対応

- GS1は、これまでGS1事業者コードの管理に重点を置いてきた。しかし、今後さらに発展するデジタル社会における GS1の役割として、GS1事業者コードだけでなく、世界で一意に商品を識別するGTIN、場所や事業者を識別するGLNなどの各種識別コードの管理が重要であると考え、2019年に、それらの情報を蓄積するデータベース「GS1 Registry Platform (GRP)」の運用を開始した。
- GRPに蓄積された情報は、世界各国のGS1加盟組織のVerified by GS1 (VbG)を通じて、広く利用されている。



GS1 Japan 産業横断レジストリーの背景(2/2)

取引のネット化の拡大とともに、GTINと正確な商品情報の重要性が高まる

- 国内においても、消費者が国や地域を越えて流通、販売されている商品をインターネットで購入することは当たり前になっており、同一商品が実店舗とオンライン店舗のように、マルチチャネルで売られるシーンも増えている。安心・安全や持続可能への意識の高まりの中、消費者に対して正確な情報をタイムリーに提供する必要が増している。
- 正確な商品情報とは、商品を最もよく知る当事者であるブランドオーナーが管理している商品情報を意味している。この正確な商品情報の収集と提供を持続的に実現するために、2022年にGS1 Japan、株式会社ジャパン・インフォレックス及び株式会社プラネットの三者は、サプライチェーン全体の商品情報授受の効率化に向けて取り組みを開始した。
- 既に三者の商品情報(商品の基本情報5項目)はGRPに連携されており、VbGを通じて、広く利用されている。
- 三者は更なる正確な商品情報利用推進のため、GS1 Japan産業横断レジストリーの構築に取り組んでいる。

GS1 Japan 産業横断レジストリーの目的

「社会的なインフラ」、「公共性」、「全産業の繁栄」を構築・運営の目的として、サプライチェーン全体の商品情報授受の効率化のための取り組みを推進する

GS1 Japan(一般財団法人 流通システム開発センター)、株式会社ジャパン・インフォレックス(JII)および株式会社プロダクト・レジストリ・サービスの三者は、GTINと商品情報のニーズに対処するため、業界横断的な商品情報のレジストリーとして、GS1 Japan産業横断レジストリーを構築する

Inforex
株式会社ジャパン・インフォレックス

株式会社ジャパン・インフォレックス

酒類・食品業界の商品情報データベースを運営

240万件を超える商品情報

7,000社超のメーカーの商品情報を保有



GS1 Japan
(一般財団法人 流通システム開発センター)



「GS1 Japan Data Bank (GJDB)-商品情報-」を運営。

450万件を超える商品情報
約4.5万の事業者の商品情報を保有



株式会社プロダクト・レジストリ・サービス



株式会社プロダクト・レジストリ・サービス (PRS)

日用品、化粧品、ペットフード・ペット用品の商品情報DBサービスを
2026年4月から提供予定。
流通業界を幅広くカバーする充実したデータベースを運営する

GS1 Japan 産業横断レジストリーの特徴



我が国最大級 ブランドオーナー起点の 業界横断的商品情報提供システム

ブランドオーナーが管理している商品情報の提供を、
GS1 Japan、ジャパン・インフォレックス、プロダクト・レジ
ストリー・サービスの三者が共同で取り組むことで
酒類・食品、日用品、化粧品、ペットフード・ペット用品
を幅広くカバー。

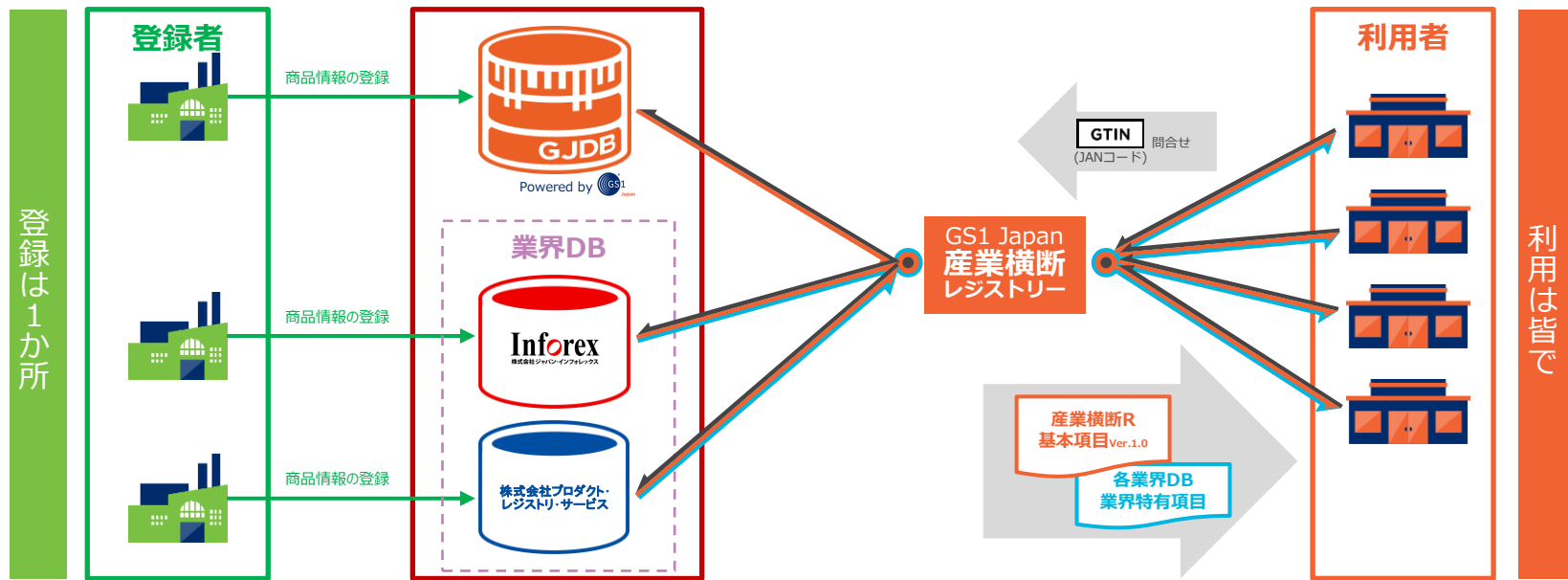


我が国流通業界における 正確な商品情報提供と 商品情報授受の効率化を実現

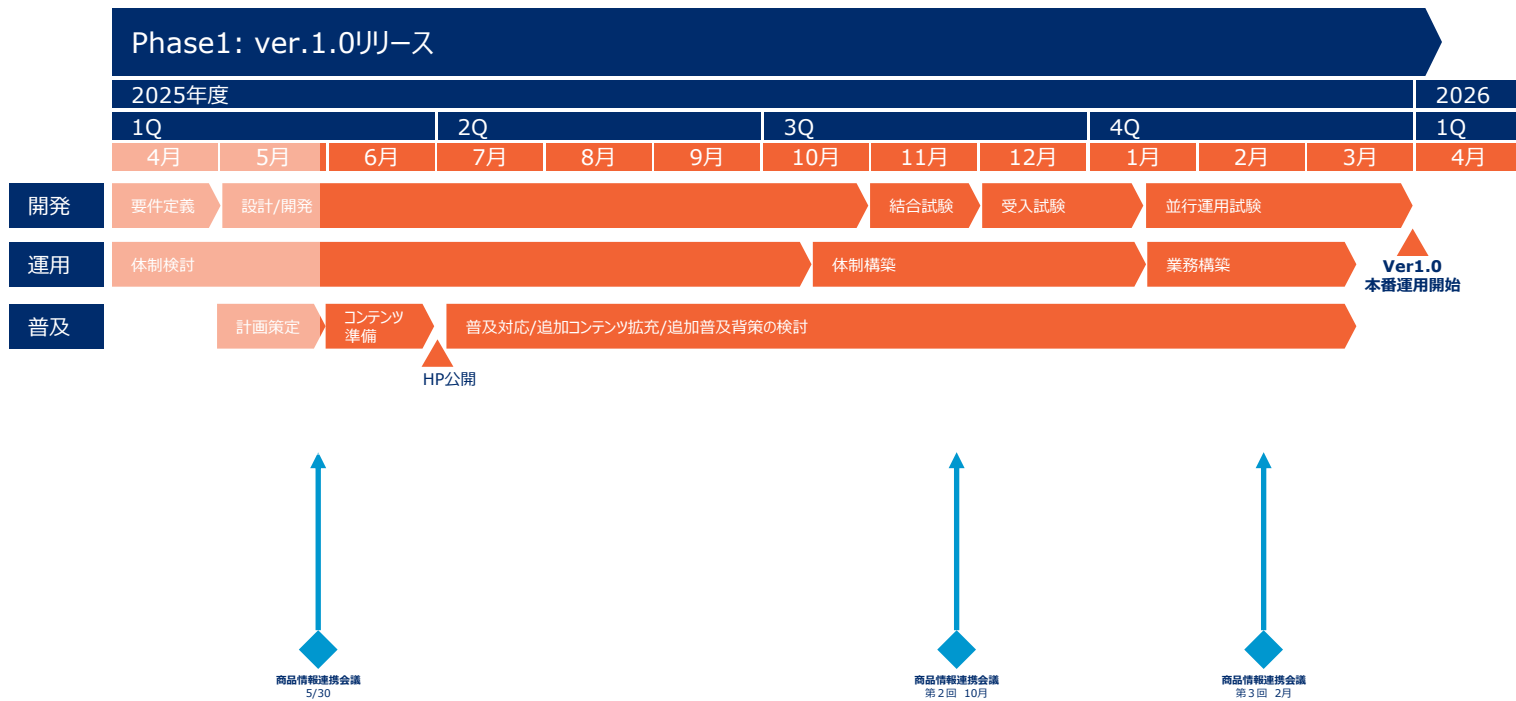
商品を最もよく知る当事者である
ブランドオーナーが
管理している正確な商品情報を、
商品情報利用者は1か所にアクセスすることで
取得可能に。

GS1 Japan 産業横断レジストリーの概要

GS1 Japan 産業横断レジストリーは、利用者が問い合わせてきたGTIN(JANコード)に対して、各データベースに問い合わせ、基本項目(56項目)を統一のフォーマットに変換し利用者に提供。また、各業界DBの業界特有項目は変換を実施せず、そのまま各業界DBのフォーマットで利用者に提供。



GS1 Japan 産業横断レジストリー ver1.0スケジュール



GS1 Japan 産業横断レジストリー 商品情報構造

参考大分類	参考小分類	参考小分類項目例	リリースバージョン	GS1 Japan 産業横断レジストリー提供項目カテゴリ
基本項目	単品	GTIN、商品名称、サイズ、内容量等	ver1.0	基本項目 56項目
	物流	GTIN、集合包装(ボール、ケース)の入数・サイズ・重量等		業界特有項目(ジャパン・インフォレックス) 89項目
拡張基本項目	棚割画像	2D商品画像(棚割画像)		業界特有項目(プロダクト・レジストリー・サービス) 106項目
	品質	原材料名、アレルギー物質、製造所/加工所、栄養成分等	業界協議を通じて、順次検討	
	EC画像	高解像度画像、3D画像等		
関係依存項目	取引	販促売価、見積価格、原単価、売単価、最低発注数量、発注可能日/最終発注日等		
個別項目	詳細品質	(表示法推奨レベルより詳細な情報)		
	その他	商品特徴、レシピ情報、MD分類 等		

ver1.0基本項目 56項目

※項目には必須項目と任意項目があります

No	項目名	No	項目名
1	GTIN	37	ボール容積（容量）
2	商品名	38	ボール容積（容量）単位コード
3	商品名（カナ）	39	ボールサイズ-幅
4	商品名（詳細）	40	ボールサイズ-高さ
5	ブランド名	41	ボールサイズ-奥行き
6	JICFS分類	42	ボールサイズ単位コード
7	内容量	43	GTIN（ケース）
8	内容量単位コード	44	ケース入数
9	表示用規格	45	外箱品名
10	自社商品コード	46	ケース重量
11	品名	47	ケース重量単位コード
12	商品情報URL	48	ケース容積（容量）
13	商品コメント	49	ケース容積（容量）単位コード
14	総重量	50	ケースサイズ-幅
15	総重量単位コード	51	ケースサイズ-高さ
16	希望小売価格	52	ケースサイズ-奥行き
17	オープン価格	53	ケースサイズ単位コード
18	軽減標準判定区分	54	連携元種別【データ登録元】
19	消費税区分	55	登録日
20	サイズ（幅）	56	更新日
21	サイズ（高さ）		
22	サイズ（奥行き）		
23	サイズ単位コード		
24	原産国（地域）		
25	出荷可能日		
26	出荷終了日		
27	GTIN使用終了日		
28	商品名（短）		
29	商品発売開始日		
30	品質保証期間名区分		
31	品質保証期間値		
32	保存時温度帯区分		
33	GTIN（ボール）		
34	ボール入数		
35	ボール重量		
36	ボール重量単位コード		

※45「外箱品名」はサービスイン時点で連携元DBに対象項目が無く、空値となります。

ver1.0 業界特有項目<食品> ジャパン・インフォレックス 89項目

※項目には必須項目と任意項目があります

No	項目名
1	メーカーコード
2	メーカーコード区分
3	伝票用商品名 (カナ)
4	カナ略称 (POSレシート用品名)
5	ブランド名 (カナ)
6	規格 (カナ)
7	商品コード種別
8	ソースマーキングの有無
9	標準・短縮識別区分
10	単品・集合包装識別区分
11	旧小売価格
12	新価格適用日
13	削除日付
14	新規登録日付
15	商品種別識別区分
16	P B / N B 分類コード
17	製造年月日・賞味期限表示方法
18	容積
19	内容物容器形態コード
20	外装容器形態コード
21	リターナブルサイン
22	流通保管方法 温度 (FROM)
23	流通保管方法 温度 (TO)
24	業務／家庭用区分
25	輸入国産区分
26	原産国
27	酒類識別区分
28	酒類分類
29	単品容量
30	アルコール度数
31	製法品質表示コード
32	製法品質内訳コード
33	色区分
34	日本酒度
35	酸度

No	項目名
36	生産都道府県コード
37	ワイン原産地
38	ワイン分類
39	酒類味分類
40	清酒麹米名
41	清酒麹米歩合
42	清酒掛米名
43	清酒掛米歩合
44	清酒濃淡度区分
45	洋酒分類
46	輸入者名
47	エキス分
48	登録内容区分
49	調理方法有無区分
50	揚げる
51	電子レンジ
52	フライパン
53	コンベクションオープン
54	湯煎
55	蒸す
56	煮る
57	オーブントースター
58	自然解凍
59	流水解凍
60	冷蔵庫解凍
61	希釈
62	固形重量
63	配送ロット
64	外箱への賞味期限印刷
65	梱GTIN
66	販売エリア
67	商品コメント
68	商品特徴 (短)
69	原材料表示
70	販売チャネル

No	項目名
71	ユニット容量
72	ユニット単位コード
73	米トレーサビリティ対象区分
74	伝達義務対象原材料名
75	産地情報伝達方法
76	米原料産地情報
77	代表商品フラグ
78	I T Fコード
79	荷合せ数
80	I T Fコード識別区分
81	荷姿入数
82	荷姿区分
83	S D Pコード
84	単品商品コード (共通商品コード)
85	パック商品コード (共通商品コード)
86	ケース商品コード (共通商品コード)
87	ボール包装区分
88	使用パレット種類
89	J A N + 荷姿

ver1.0 業界特有項目<日用品> プロダクト・レジストリ・サービス 106項目

※項目には必須項目と任意項目があります

No	項目名	No	項目名	No	項目名	No	項目名
1	共通取引先コード	36	メーカー名	73	ブランド販売名	106	裏面公開日
2	半角商品名 (14)	37	医療機器クラス	74	ブランド販売名 (カナ)		
3	セット区分	38	特定保守管理	73	包装規格名称		
4	パッケージの種類	39	全角正式商品名 (容量・規格を除く)	74	小児用区分		
5	廃番日	40	全角内容量 (単品)	75	O T C 医薬品 登録事由		
6	受注開始日	41	全角内容量単位名 (単品)	76	目的食区分		
7	P B 発売元情報	42	全角入数 (単品)	77	販売業者届出区分		
8	取引制度区分	43	全角入数単位名 (単品)	78	飼料の種類		
9	半角ブランド名 大	44	半角内容量単位名 (単品)	79	食塩相当量		
10	半角入数 (単品)	45	入数単位コード (単品)	80	ケース I T F 開始年月日		
11	全角商品名 (25)	46	半角入数単位名 (単品)	81	ボール I T F 開始年月日		
12	棚割商品名	47	酒類分類 1	82	ケース I T F 終了年月日		
13	業界カテゴリコード	48	酒類分類 2	83	ボール I T F 終了年月日		
14	商品特徴 (50)	49	製法品質	84	ケース (ボール入数)		
15	商品特徴 (25)	50	日本酒度	85	荷合わせ数		
16	全角ブランド名 中	51	酸度	86	パレット面数		
17	データ公開区分	52	ワインカラー	87	パレット段数		
18	限定手段	53	エキス分	88	セット商品明細 セット品明細 商品コード区分		
19	旧共通商品コード	54	糖質	89	セット商品明細 セット品明細 共通商品コード		
20	セルフメディケーション税制対象区分	55	食物繊維	90	セット商品明細 景品条件・現品数 (有償)		
21	カラー名	56	製造元・都道府県コード	91	セット商品明細 景品条件・景品数 (無償)		
22	ソースDB区分	57	PTIH (商品階層)	92	メーカー製品 H P (英語)		
23	アルコール度数	58	J A N メーカーコード	93	メーカー製品 H P (中文簡体字)		
24	取扱最高温度 (℃)	59	承認販売名	94	メーカー製品 H P (中文繁体字)		
25	取扱最低温度 (℃)	60	承認販売名カナ	95	メーカー製品 H P (韓国語)		
26	原材料表示	61	商品区分	96	メーカー製品 H P (その他)		
27	原産国	62	O T C 医薬品分類	97	半角正式商品名		
28	栄養成分強調表示	63	O T C 医薬品・配置薬区分	98	商品本体サイズ		
29	栄養成分表示単位	64	局方品区分	99	材質・素材 (本体)		
30	熱量	65	毒薬・劇薬区分	100	表示成分		
31	脂質	66	農薬・動物薬区分	101	使用方法		
32	炭水化物	67	剤形区分	102	使用上の注意		
33	タンパク質	68	医薬品統一商品コード	103	裏面その他		
34	ナトリウム	69	医療機器承認番号	104	検索用キーワード		
35	遺伝子組換え区分	70	生活者公開フラグ	105	情報公開日 (E C 向け)		

GS1 Japan 産業横断レジストリー小売向けAPI連携概要

GS1 Japan 産業横断レジストリーでは Web APIにより商品情報を利用者に提供

GS1 Japan、ジャパン・インフォレックス、プロダクト・レジストリー・サービスが保有するブランドオーナーが直接登録したGTIN単位の商品情報を利用者に提供。利用者が取得できる商品情報【基本項目と業界特有項目】と、取得するために使用するAPIの仕様を定めている。

2025年7月より
項目とAPI仕様に関するお問い合わせの
受け付けを開始

GS1 Japan 産業横断レジストリー 項目【例】



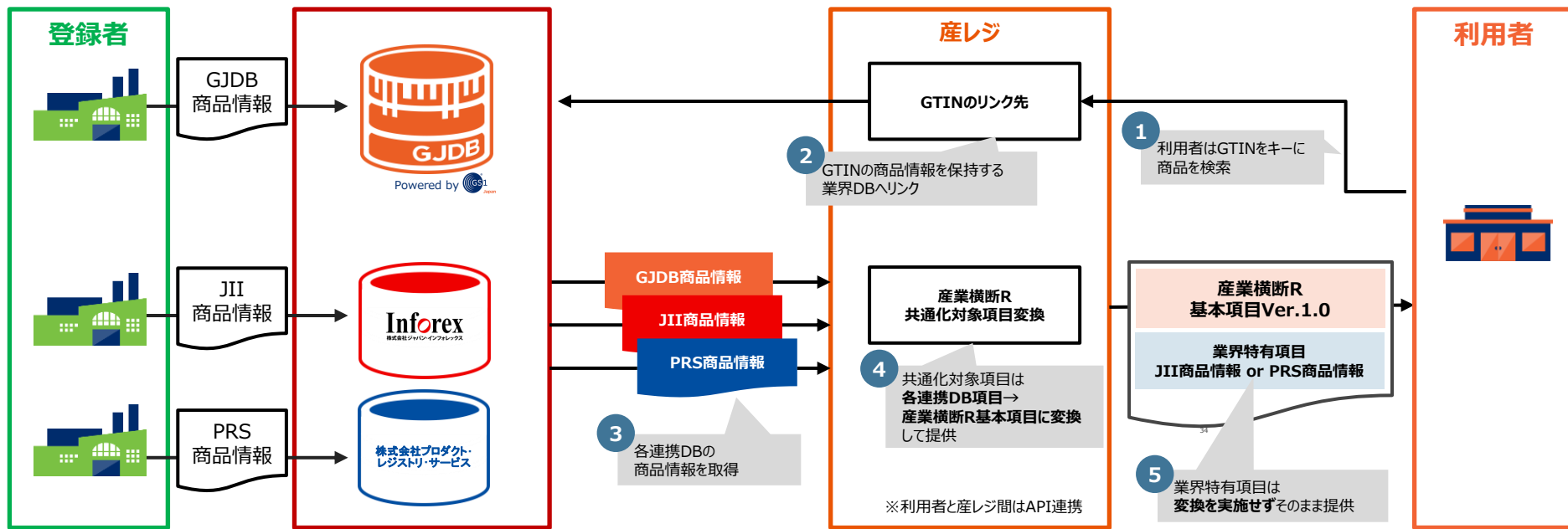
産業横断レジストリー項目

GS1 Japan 産業横断レジストリー Ver.1.0 利用者向け API仕様書



GS1 Japan 産業横断レジストリー連携イメージ図

産レジの商品情報基本項目(56項目)は統一のフォーマットに変換し利用者に提供。
各業界DBの業界特有項目は変換を実施せず、そのまま各業界DBのフォーマットで利用者に提供。



GS1 Japan 産業横断レジストリーver2.0に向けて

Phase1: ver.1.0リリース対応

2025年度

1Q

4月

5月

6月

2Q

7月

8月

9月

3Q

10月

11月

12月

4Q

1月

2月

3月

2026

1Q

4月

開発

要件定義

設計/開発

結合試験

受入試験

並行運用試験

運用

体制検討

体制構築

業務構築

Ver1.0
本番運用開始

普及

計画策定

コンテンツ
準備

普及対応/追加コンテンツ拡充/追加普及策の検討

HP公開

Phase2: 産レジver2.0のリリース準備

事業モデル検討

大枠の料金案検討

『商品情報連携会議』における業界関係者による次期バージョンに向けた詳細な機能要求事項の定義
どんな機能、どんな情報が共通仕様とできるかを検討し、定義されていく

機能拡張の計画、実装機能と非機能要件の擦り合わせ

次期バージョンへの要件定義

商品情報連携会議
5/30商品情報連携会議
第2回 10月商品情報連携会議
第3回 2月

2024年度商品情報連携標準に関する検討会より

APPENDIX

A

第一回商品情報連携会議説明資料 ※一部更新

B

GTIN設定の10のルール

GTIN設定の10の基準＜参考＞GTIN設定ガイドライン



https://www.gs1jp.org/standard/identify/gtin/gtin_guide.html

内容	単品・最小取引単位	集合包装
【基準 1】新商品を発売した場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準 2】商品表示の変更をともなう成分や機能を変更した場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準 3】商品表示の変更をともなう正味内容量を変更した場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準 4】包装の外寸、または総重量の変更程度が20%を超える場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準 5】認証マークを追加、または削除した場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準 6】ブランドを変更した場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準 7】販促のために期間限定で包装を変更、または景品・試供品を付けた場合	変更なし	新しいGTIN
【基準 8】集合包装の入数を変更した場合	変更なし	新しいGTIN
【基準 9】あらかじめ決められた組み合わせ商品の中身を変更した場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準 10】商品本体に直接表示された価格の追加、変更、削除を行う場合	新しいGTIN	新しいGTIN

なお、上記は必要最低限のルールであり、以下の場合のように、より細かい商品の違いを区別するために、GTINを変更し新しいGTINの設定が必要になることもあります。

- ・商品を販売する国・地域の規制、法令によって、GTINの変更が求められる場合
- ・ブランドオーナーが、より細かく商品の違いを区別したいと考える場合、あるいは消費者・取引先のニーズに応えるためにGTINの変更が必要であると判断する場合

正しい商品情報をつなぐため、ルールの浸透も必要

End